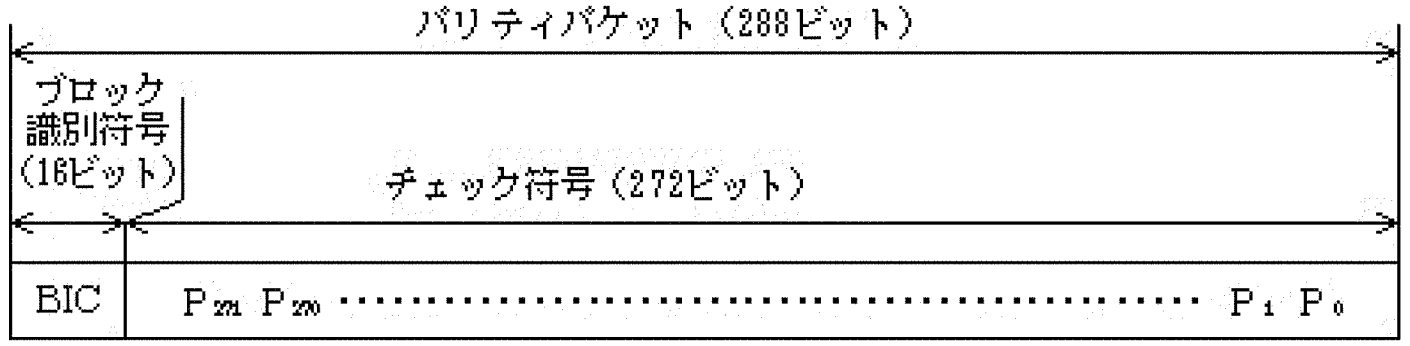
⑵　パリティパケット



注　パリティパケットは、列方向のチェック符号の基本単位であり、ブロック識別符号及びチェック符号から成る。

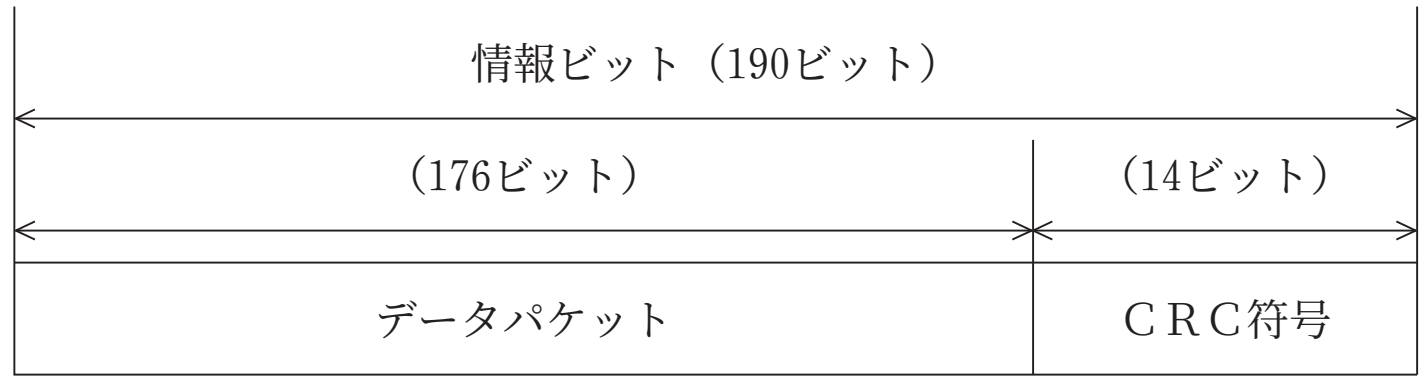
別表第二号　パケット及びパリティパケットの誤り訂正

誤り訂正符号	（272，190）短縮化差集合巡回符号による積符号とする。
チェック符号	各パケットにおけるＢ３のｂ１からB26のｂ６までの情報ビットの値を多項式$a_{271}X^{271}+a_{270}X^{270}+\cdots\cdots+a_{82}X^{82}$の上位桁から各項の係数値とし、この多項式を生成多項式Ｇ（Ｘ）で除した剰余の多項式$r_{81}X^{81}+r_{80}X^{80}+\cdots\cdots+r_0X^0$の各項の係数値をパケットのチェック符号ビットとし、上位桁から順次B26のｂ７からB36のｂ８までの値とする。 生成多項式Ｇ（Ｘ）は、次式とする。 $G(X)=X^{82}+X^{77}+X^{76}+X^{71}+X^{67}+X^{66}+X^{56}+X^{52}+X^{48}+X^{40}+X^{36}+X^{34}+X^{24}+X^{22}+X^{18}+X^{10}+X^4+1$ パリティパケットのチェック符号は、列方向において、パケットのチェック符号の生成と同様の方法により生成した値とする。

別表第三号　パケットの誤り検出

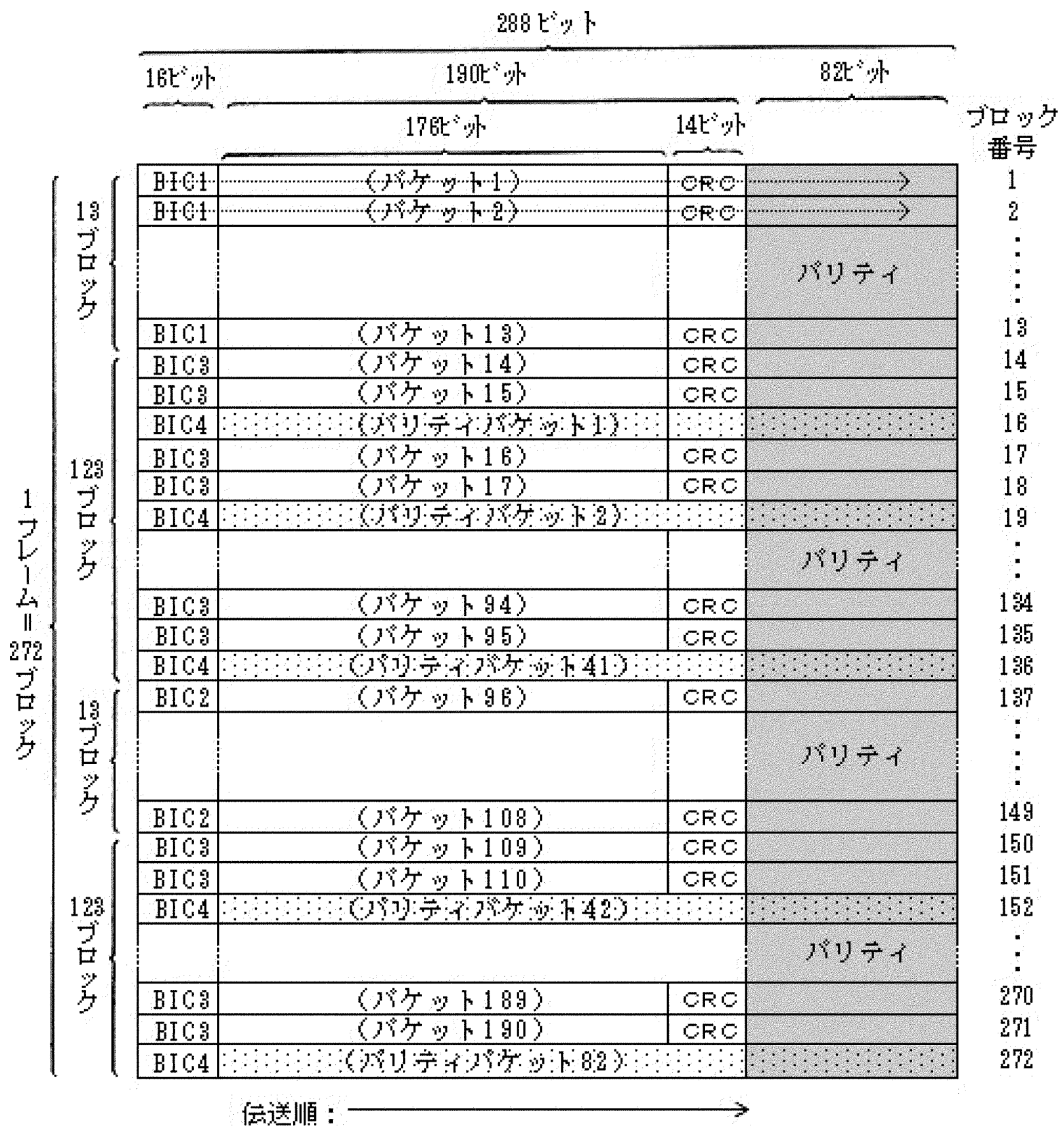
誤り検出符号	14ビットのＣＲＣ（Cyclic Redundancy Check）符号とする。
ＣＲＣ符号	ＣＲＣ符号は、情報ビットのうち176ビットのデータパケットを除いた最終14ビットとする。情報ビットとＣＲＣ符号の関係を別記に示す。 各パケットにおけるＢ３のｂ１からB24のｂ８までの情報ビットの値を多項式$a_{271}X^{189}+a_{270}X^{188}+\cdots\cdots+a_{96}X^{14}$の上位桁から各項の係数値とし、この多項式を生成多項式　Ｇ（Ｘ）で除した剰余の多項式$a_{95}X^{13}+a_{94}X^{12}+\cdots\cdots+a_{82}X^0$の各項の係数値をＣＲＣ符号ビットとし、上位桁から順次Ｂ25のｂ１からB26のｂ６までの値とする。 生成多項式Ｇ（Ｘ）は、次式とする。 $G(X)=X^{14}+X^{11}+X^2+1$

別記　情報ビットとＣＲＣ符号の関係



別表第四号　フレーム

１　フレーム構成



注１　１フレームは、288ビット×272行のマトリクスから成り、各行をブロックと呼ぶ。

２　１フレームは、データを伝送する190個のブロック（パケット）及び列方向のパリティを伝送する82個のパリティのブロック（パリティパケット）から成る。

３　フレームは、順次連続して伝送し、１フレーム内では先頭ブロックであるブロック番号１番から272番まで順次伝送する。

２　ブロック識別符号

ブロック識別符号の種類	ＢＩＣ１，ＢＩＣ２，ＢＩＣ３，ＢＩＣ４の４種類
ブロック識別符号のビットパターン	ＢＩＣ１：0001　0011　0101　1110 ＢＩＣ２：0111　0100　1010　0110 ＢＩＣ３：1010　0111　1001　0001 ＢＩＣ４：1100　1000　0111　0101 伝送順――――――→